

新年あけましておめでとうございます。

冬休みはゆっくり過ごせましたか。三学期は、しめくくりの時期です。

新しい学年に向けて、今までと違ったジャンルの本に挑戦するの面白いですね。また、6年生との思い出もいっぱい作りましょう。

冬やすみ前にかりた本のへんきやくについて

冬休み前にかりた本は、1月14日（金）までに
かならず返しましょう。



▲もののはじまりシリーズより▼

お年玉のはじまりは？

平安時代ごろは、お金ではなく“お餅”でした。このころの日本では、新年がくると人間は一つずつ年をとると考えられていました。年神様が年をとらせてくれると信じられていたのです。おおみそかに、一人にひとつずつ年を配ります。それを形にしたものが“おもち”だったのです。だから“お年玉”は、年神様からもらったものなんだな！
とおもって感謝しましょう。

年賀状のはじまりは？

江戸時代の初めごろ、お正月の年始回りというのが盛んになってきました。夜も明けないうちから、しんせきや目上の人の家についてお祝いのあいさつに回ります。江戸時代の終わりぐらいから、玄関に“めいし”をおいて帰るという習慣に代わってきます。そして、明治時代の中ごろには、めいしを郵便でおくるようになりました。



※ 小中学生向けブックリスト「本の扉を開けてみよう～

ぐんまの小中学生に贈る131冊～」について【下段参照】↓

小中学生向けブックリスト「本の扉をあけてみよう～ぐんまの小中学生に贈る131冊～」

URL : https://www.pref.gunma.jp/03/x38g_00084.html

QRコード

